

県医労新聞

2018年3月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>
編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1933号(月刊147号)



「3.11祈りの灯火 in 盛岡」(2017年3月11日 盛岡市「もりおか歴史文化館」)

目次

- 1 P 第159回中央委員会
人事異動内示の心得
- 2 P 2018年春闘アンケート結果
地公闘退職金引き下げ阻止
- 3 P 日本医労連看護要求実現交流集会
岩手医労連第45回中央委員会
- 4 P 女性部ニュース
- 5 P 東北地方協2018年春闘討論集会
青年部ニュース
ヒバクシャ署名の会岩手県交流集会
- 6 P つぶやき とんがらし
新春パズル当選者
- 7 P お知らせ
 - ◇退職者をねぎらう集い
 - ◇3000万署名の取り組み懸賞パズル 3・4月の予定



新高田病院落成(2月16日)

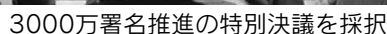
県医師会第159回中央委員会

の改定などへ、仲間を増やし、団結を強くして要求し交渉していくことなどを確認しました。

来賓に、岩手医労連、いわて労連、日本共産党が出

の改定などへ、仲間を増やし、団結を強くして要求し交渉していくことなどを確認しました。

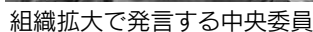
来賓に、岩手医労連、いわて労連、日本共産党が出



席、自由党、民進党、社民党からメッセージが寄せられました。

〇〇書記長が春闘方針を提案し、出席した17支部のうち16支部から発言がありました。特に、病院当局が「職員から希望がある」などと推し進めている12時間交代勤務に関し

て、説明会の開催や、補助者に試行が提案された支部もあり、支部執行委員会で組合としては反対であることを再確認し、増員の要求、正循環シフトでの勤務の実現などで交渉していることが報告されました。試行されている支部でも、実態を把握し、休憩時間の確保ができるのかなどの確認を進めています。



また、病休等による9回

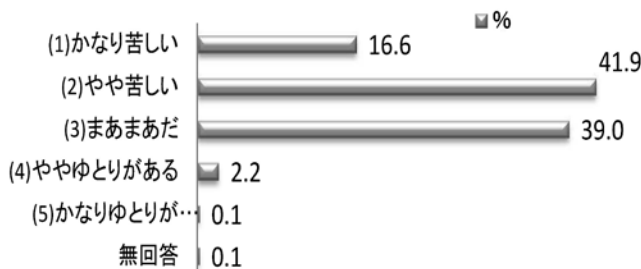
③そして本部にも連絡を。本部でも組合員の要望に沿うよう交渉・確認を行います。

夜勤も多く報告され、長時間超勤があるものの、超勤勤務の請求ができない状況も話されました。救急医療体制では、当直明け朝帰りの剥奪から1年が経過し、急患が増える中で、スタツフが減らされ、「朝帰りの条件」を満たしているにもか

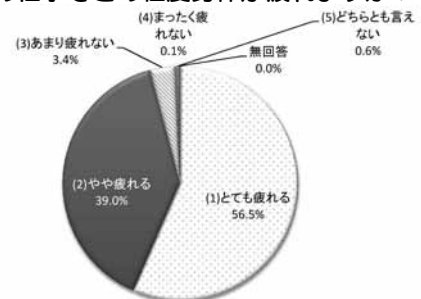
かわらず、帰れない実態や
支部交渉で増員を要求して
いることも報告されました。
運動方針、選挙委員の選
出、予算更正案はいずれも
満場一致で採択されました。
最後に、アベ改憲NO！
3000万人署名推進の特
別決議も採択されました。

日本医労連2018年春闘 はたらくみんなの要求アンケート 賃金不足額・要求額ともに昨年より増額!

あなたの生活実感



普段の仕事でどの程度身体が疲れますか?



18春闘「働くみんなの要求アンケート」は、1月末で15支部・本部から739人分を集計しました。

正規職員の「賃金不足額」は平均41,502円(昨年は平均39,097円)、「賃金要求額」は平均30,219円(昨年29,725円)と、昨年を上回る結果となりました。

「生活費で一番負担に感じていること」では、学費24%、税・社会保険料20%、住居費19%が上位を占める結果となりました。

「職場での不満」では、正規職員で「人員が少ない」46.4%、「賃金が安い」39.9%、「休暇が取れない」36.2%、非正規職員で「退職金が少ない」40.2%、「正規職員との賃金・労働条件の格差」36.2%、「賃金が安い」31.7%がそれぞれ上位を占める結果となりました。

アンケートの結果から「正規職員の給料月額4万円以上」、「時間制職員の賃金時間250円以上」を掲げ、大幅賃上げ、諸手当改善、臨時・パートも含めた労働条件の改善を求めている。

たかいます。また、職場の労働条件改善には大幅増員が不可欠です。職場内で意思統一を図り、超過勤務の請求にしっかり取り組み、実態を数字で示しましょう。

「退職手当削減」は 今年度実施を阻止!

「退職手当削減」の動きは、昨年12月の国の動向を受けた県提案の可能性が高まり、私たちは削減阻止に向けて県地公共闘7団体と「知事宛レトリカード」の取り組みをすすめました。1月には県人事課長交渉・県総務部長交渉とあわせて決起集会や県庁座り込み行動を3回実施しました。最終局面では、県

総務部長から、「厳しい財政事情があり、大変心苦しい忸怩たる提案だ」としつつも撤回には至りませんでした。「退職を間近に控えた職員への影響を考慮し、引き下げ実施時期を4月1日からしたい」との回答が出され、子の看護休暇の対象拡大の考えが示されました。

「残業代不払い」の職場は いのちが危ない!



講演する島田弁護士

日本医労連「2017年度春闘・看護要求実現全国交流集会」



最後に「いい看護がしたい」をアピール

2月7日から8日まで大津市で開催された交流集会には、全国から127名が集いました。

記念講演は、「働くルール守って看護労働を、過重労働・サービス残業をなくす」と題し、北海道きたあかり法律事務所・島田弁護士が、2012年12月に亡くなった国家公務員共済組合連合会（KKR）札幌医療センターの新卒看護師過労自死事件の教訓を

中心に話されました。いわゆる「ブラック企業」には、必ずセットになっている2つの特徴があり、「一つは『自己研鑽・能力向上への圧力』。『あなたはもっと成長しないといけない』と言われ『頑張らねば』と思う心の内面を利用したもので、それが企業のコスト削減につながる。もう一つは、残業代不払いの常態化。KKRの場合、長時間労働の強要により、新人の『選別』がされ、病院に残っている先輩看護師たちは、それがあたり前として『受容』『適応』した人たちだ」と。結果として、残業代を抑制するための実によく出来た経営上の働かせ方などの指摘でした。同じ悲劇を繰り返さないためには、個人は労基法を知る、過労死ラインを知る、自分の身体を知ること、そして「ちゃんと」弱音を

4万円以上の賃上げを

岩手医労連中央委員会

岩手医労連中央委員会が1月27日（土）、盛岡市「エスポワールいわて」で開催され、春闘の運動方針を決めました。

組合員の生活実態に基づくアンケート結果や、他産業との格差是正、社会的役割にふさわしい賃金水準の確立、生活改善めざす立場から産別統一要求は、「4万円以上の賃上げ」「初任給・年齢別ポイント賃金改善」「企業内最低賃金の改善」としてたたかうことを確認。

また、最低賃金の引き上げと全国一律最賃制度の実現をめざして、学習し運動を

開始することとしました。

18春闘が、「9条改憲」をさせないための大事な情勢であることから、佐々木良博弁護士を講師に「憲法学習会」を行い、「3000万署名」の取り組みを決意新たにしました。



挨拶する中野執行委員長

吐く、「ちゃんと」逃げる
ことが大事と述べました。

① 残業代が支払われない、
② 十分に休憩がとれない、
③ 有給休暇が取らせてもらえない職場は、「命が危ない」職場だと自覚する必要があります。

があり、「長時間労働は複合的に職場をむしばむ」と警鐘をならしました。

分散会では、時間外労働の管理の問題や夜勤シフトについての状況等を交流しました。



午後の講演は「発達障がいー成人期の支援ー」

2月17日、岩手医労連女性労働学校が盛岡市勤労福祉会館で開催され、全体で52名、県医労からは8支部・本部17名が参加しました。

午前は、3つの講座が行われました。第1講座の「変える？変えない？憲法9条」（講師＝金野耕治さん）では、DVDを鑑賞し、ディスカッションを深め、今の

平和を守るためにも憲法9条は変えてはいけないことを再認識しました。第2講座の「ハーバリウム」（講師＝おはなや花兵衛さん）は、センスがないと嘆く参加者もありましたが、個性豊かな作品に仕上がりました。第3講座は「ヨガ（腰痛予防）」（講師＝土川律子さん）。普段意識していないところを呼吸に合わせて伸ばし、心身ともにスッキリしました。

午後は、「発達障がいー成人期の支援についてー」を、岩手県発達障がい者支援センター「ウィズ」の菅原諾子さんが講演。疑似体験を通してものの見え方、感じ方、対応について学びました。



岩手医労連第58回女性労働学校開催

今があるのは 平和であつてこそ



中央支部 女性部 ランチと学習

中央支部女性部は2月20日と24日、盛岡市内のホテルでランチを食べながら、ミニ学習会を開きました。1回目は佐々木良博弁護士から労基法について、2回目は〇〇書記次長から権利について学習しました。



2月20日、佐々木弁護士を講師に学習会



釜石支部 女性部 新春のつどい

1月26日、釜石支部女性部は、大船渡温泉で、新春の集いを開催しました。参加者は12名(内、子ども1名)。人気の温泉で、美味しいお料理とおしゃべりと温泉で日頃の疲れを癒しました。



労働の尊厳を取り戻す闘い

東北地方協春闘討論集会

2月3～4日、日本医労連東北地方協春闘討論集会「ホテル森の風鶯宿」で開催されました。県医労からは4支部・本部15名、全体で142名が参加しました。

記念講演は、毎日新聞社

記者の東海林智さんが「18春闘、与党3分の2時代を闘う労働運動の課題」と題して、「労働を商品化する安倍政権に対し、働く尊厳を守り、人間らしい働き方を取り戻すために必要だ」と熱く語りました。その後、日本



毎日新聞記者 東海林智さん

医労連森田書記長が基調報告を行い、大幅賃上げ・労働時間の改善、憲法を守り活かして、人間らしく働ける職場をめざし、産別の統一行動にこだわって取り組んでいこうと呼びかけました。

ヒバクシャ署名推進へ ジャンプアップ集会開催

ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会では結成1周年を記念し、2月18日（土）、水産会館で、ジャンプアップ集会を開催しました。県被団協伊藤会長が開会あいさつに立ち、日本被団協の和田事務局次長が核兵器禁止条約採択の歴史的意義をスピーチしました。また、新婦人、民青同盟、高校生平和大使が取り組みなどを報告し、署名推進を意思統一しました。



アクト成功に向けて!

2月3日～4日に開催された東北地方協春闘討論集会では青年代表者会議も行われ、県医労からは2名が参加しました。各県の代表が9月に岩手県で開催される「みちのくアクト」成功へ向け、多くのアイディアを出し合いました。それぞれの活動報告も活発に行い、交流を深めました。

2018春闘に向け、青年が組職場での発言権の確保や、自らの労働条件に関与していく意識を高め、大幅賃上げ、労働環境の改善に取り組む決意をしました。



てびやま

通勤中、アイスバーンで何度も滑り、事故になりそうになる度に、心臓がバクバクします。

江刺支部 みかん娘

弱い立場の人々を切り捨てるような県立病院にはなつて欲しくありません。現場で苦勞して働いている職員の声をしっかり聞いてもらいたいです。

南光支部 ○○○○

2018年が働きやすい環境へとなる事を願います。笑顔で、明るく、楽しい年になりますように！

中央支部 わんこ

毎日毎日忙しく、人手不足を感じる今日この頃。もつとゆとりがある職場に

なるといいな。

中央支部 おむすびまん

今冬は「みかん」が高く、心おきなく食べられませんでした。次の冬はたくさん食べたい！

大船渡支部 コロちゃん

パソコン買いました。少しはできるのですが、いつも子どもにバカにされ…。パソコンで何でもできるよ

新春パズル

当選者発表

新春パズル「まちがいは7つ」には35名の応募があり、34名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の20名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■1月号当選者(敬称略)

ナポリタン・ジョンママ(以上、久慈支部)、二戸へおハクシヨシ大魔王、はなちゃん(大船渡支部)、なん

うになることが今年の目標です。

胆沢支部 ポコ



いつも「懸賞パズル」にご応募ありがとうございます。郵便料金はお間違いのないようお願いします。

とんがらし

「労働時間とは」「休憩とは」の定義を知らずに管理者になっている上司が多々いることに危機感を感じている▼そんな管理

者の下で職員は、時間外労働による長時間勤務を強いられている。疲労困ぱいし、疲弊状態に陥り早期離職者が後を絶たない。8時間働けば退庁できるシステムなど、医療局にはないようだ。なぜなら、朝の業務分担で8時間以上の業務がついているからだ。キャパオーバーから始まって、さらに急患対応では、終わりが見えない業務で、働く意欲が減退してしまふ▼政府が今国会で通過させようとしている「働き方改革」関連法案の一つに「裁量労働制(みなし残業代制)の拡大がある。「労働時間とは」の定義がなくなつたら、企業は喜び、労働者は過重労働で過労死が増えるのでは。そして自己責任で済まされてしまいかねない▼「休憩時間」にしても、8時間を越える場合、「少なくとも1時間の休憩を与えなければならぬ」と労働法の定めがある。しかし、1時間休憩を取っている職員はどれくらいいるだろうか。働く人の健康維持のための休憩時間をしっかり保障するのが、管理者の責任だ。「工夫して休め」では、あまりにも無責任過ぎる。休まない職員が悪いかのような暴言を吐く上司のせいで、職場環境は最悪な状況に陥っている▼8時間働けば、定時に帰れる職場。健康維持のため1時間の休憩時間が確保でき、自由に自分の年次を取得できる職場を医療局には是非実現して欲しいものだ▼改善に向けて、私たちがやるべき大切なことは、「これって変じゃない？」と労働組合の仲間と語り合うこと、時間外労働はしっかりと請求することです。

(す)

「戦争はイヤだ!」 一人10筆集めて 9条を未来につなげよう

自衛隊に戦争をさせてはいけません。
子どもたちに、「戦争する国」を残してはいけません。

20筆以上集めた組合員には、クオカード1,000円分を贈呈。



退職される皆様へのご案内 退職者をねぎらう集い

とき 4月21日(土)~22日(日)

ところ 秋田県大仙市温泉ゆぼぼ
あきた芸術村温泉ゆぼぼ

内容

- ◇わらび座観劇
- ◇手作り体験または
角館武家屋敷散策
酒蔵見学
- ◇田沢湖ビールで昼食



懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送りは先着10名です。020-0023盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は3月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ



まちがい7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお忘れなく!

3月の予定

- 1日(木) 3.1ピクニデー
高田病院開院
- 3日(土) 安全衛生・36協定担当者会議(都南文化会館)
- 6日(火)~7日(水)
日本医労連対政府中央行動(東京)
- 8日(木) 2018国際女性デー岩手県集会(盛岡市勤労福祉会館)
- 10日(土) さよなら原発岩手県集会2018(盛岡劇場)
- 16日(金) 拡大支部長会議(水産会館)
- 17日(土) 東日本大震災津波7年のつどい(野田村)
岩手医労連青年部第17回ウィンターアクト(アイーナ他)

4月の予定

- 14日(土) 拡大支部長会議(水産会館)
- 21日(土)~22日(日)
退職者をねぎらう集い

